

耕作困難な田への植林で下流を保全

奥出雲町 馬馳集落



1. 馬馳集落の活動

馬馳集落は、平成12年度に始まった中山間地域等直接支払制度（前期対策）に取り組み、集落で協定を立ち上げました。平成17年度からの新対策では2自治会（4集落）の農家・非農家約50戸が統合し、一つの協定として活動をされています。

中山間地域等直接支払制度では、農地として引き続き利用することが困難な農地や耕作放棄地は、農地転用後に植林し、林地として管理することで交付金を受けることができます。しかし、林地化に取り組む協定はごく少数です。馬馳協定での0.4haの林地化の取り組みについて、協定の〇さんにお話をお聞きしました。

中山間地域等直接支払制度での限界的農地の林地化（平成20年3月時点）

中山間地域等直接支払制度では、農業生産活動等により農用地を農用地として守ることで交付金が交付されますが、限界的農地または耕作放棄地の林地化に取り組む場合も交付金が交付されます。

《限界的農地の林地化》

限界的農地とは、現に耕作又は管理されている農地で、集落の他の農地に比べ、土壌、日照条件、極端な急傾斜等により生産条件が不利で、耕作放棄の懸念が特に大きい農地として集落の申請により市町村長が判断した農地です。

「限界的農地の林地化」とは、将来的に農用地を山林にすることを目的に、限界的農地で新たに樹木の苗を植え付けるための雑草・雑木の刈取り・除去、樹木の苗の植え付け、植え付け後の下草刈り等の管理などを行うことです。

限界的農地を林地化した場合の交付金（円／10a）

	田を林地化	畑を林地化	草地を林地化	採草放牧地を林地化
急傾斜	21,000	11,500	10,500	1,000
緩傾斜	8,000	3,500	3,000	300

耕作放棄地の林地化については、大田市入石集落の取り組みをご覧ください。

2. 限界的農地の林地化の取り組み

● 植林をする理由

—どのような農地に植林されるのでしょうか。

〇さん 軽トラックも入らない細い道の奥の、山中の谷沿いにある、勾配が急な棚田だ。歩いてでないと行けない。深田で、他の田からは離れている。平成5年頃からイノシシの被害が出初め、対策を講じたが、過重労働でありもう耕せない。

一同じように土地の条件が厳しく、労働力不足のため放棄され、自然のまま遷移して山林や原野になる田も少なからずあります。人手をかけて植林をされる取り組みは少ないようですが、どのような事情があるのでしょうか。

○さん 田のある谷の下流に農業用のため池があり、下流には住宅地がある。田があまりにも荒れると、表土や土砂がため池に流れ込んで堆積して、ため池の貯水量が下がる。そこで、住宅地を守ることで防火水利を確保するため、この土地に水源涵養機能を持たせる必要があり植林して林にすることにした。

昨年の2月に農地転用をして、春にクヌギとヒノキを植えた。クヌギを植えたのは、広葉樹の方が水源涵養機能の期待できるため。ヒノキは用材木として使えるように。しかし、土地の水分が多過ぎて根腐れを起こしたのか、苗が弱かったのか、かなり枯れたので、また春に補植したい。田だったところに植林するには、水はけを良くして、根が張りやすいようにしなくてはいけない。



農業用のため池

家屋のすぐそばにあります。ため池の下手にも数件の家屋があり、このため池が埋められると貯水機能が低下し、危険です。

—労働力不足のため耕作できなくなったということですが、植林後の下草刈りなどの管理が大変では。

○さん 下草刈りと当面の管理は所有者の方が頑張ると話している。間違って刈り取らないよう、色つきのテープを巻いて植えた。植えて約10年経つまでの管理は大変だが、それからは手がかからない。

木を植える作業や、田の周辺の下草刈りは共同取組活動として手伝ってもらっている。

土地に役割を持たせたいという思い

○さん 昔の人は、土地に何らかの役割を持たせたいという気持ちを持っている。昔は、田んぼ、畑があって、その周りに里山があって家畜の餌になっていた。その奥は、下草刈りをして、除伐をした材木を稲ハダの材料にしたり、短く切った雑木は炭焼きしていた。そういう思いがある今の60代の人にとっては、田んぼが作りにくくなったからといって放っておくのは忍びなく、せめて林地にしたいという思いが非常に強いのでしょう。



限界的農地への植林

クヌギとヒノキを植林しましたが、この場所では根付かず、全て枯れた様子。

左上：別の田では、まばらですが、幼木が根付いていました。

このとおり、両側を山で挟まれた谷地にある田。田は水を湛えるため、ダムと同じ機能を持ち、下流域への流量を調節します。耕作放棄され、畦が管理されず崩壊すると、湛水機能が失われます。さらに、法面の崩壊などによる土砂の流出は、下流に影響を及ぼす恐れがあります。